

2020年度 サビエル高等学校 学校評価書

【教育方針】

～愛と奉仕に生きる～

本校はキリスト教精神に基づいて、真・善・美を追求し、
知・情・意の調和のとれた円満な人格の育成を目指しています。
学力向上 愛と奉仕 国際交流 を通して21世紀を創る社会人を育てます。

【3つの教育目標】

I 祈る(心を育てる):祈りを通して、自分自身や他者をありのままに受け入れよう。

II 学ぶ(知性を磨く):神から与えられた能力をともに伸ばそう。

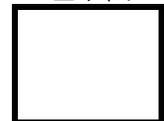
III 行動する(他者のために、他者とともに生きる):地球社会の一員として、できることから始めよう。

【スクールモットー】

For Others, With Others

～他者のために、他者とともに～

理事長



2020年度 第2回 サビエル高等学校 教職員による学校評価

評価基準: 4…そう思う 3…どちらかといえばそう思う 2…どちらかといえばそうは思わない 1…そう思わない

意見・要望欄について
 ○…高評価
 △…低評価、今後の課題

自己評価			学校関係者評価		
領域	評価の観点	評価	気づき等	意見・要望等	評価
主に学校運営全般に関する事柄	1 学校は、建学の理念「愛と奉仕に生きる」のもと、教育を行っている。	3.74	今年度については、昨年度末からの新型コロナウイルスの影響が大きな1年であった。本校でも、感染対策、臨時休校への対応、いろいろな行事の中止、規模縮小実施、など影響を受けた。教員の自己評価からもそれが感じ取れる結果となった。 11について …For others, with othersの精神が生徒に浸透しているように思う。(いいことだと感じる)	○理念や目標は浸透しており、十分な取り組みもされていると思う。 △サビエル学園の存在意義、理念、目標を明確にし、全てはそれを達成するための手段であることを再確認し、運営に臨んでほしい。 ○コロナ禍において、危機管理体制をしっかりとってこられたと思います。 △同じ教科の教員間の連携を行い、クラスによって単元の進み具合を合わせてほしい。(テストに影響する) △日程変更なども少し早く、生徒だけでなく保護者にも連絡してほしい。 △サビエル高校の少人数でアットホームなところを活かして、ぜひ、少しでも保護者とも対面で話す機会を減らさず、連携することが大切だと思います。 △学校行事について、中止、縮小せざるを得ない状況であったことは、保護者も理解されていると思う。今後、コロナ対策がなくなることはなく、新しい生活スタイルの中で学校行事を行っていく必要があると思う。 △コロナ禍での学校運営は大変だったと思うが、生徒にとっては一生に一度の高校生活なので、先生方も大変ですが、できる限りのことを実施して経験できるようにしてあげてほしい。	4.00
	2 学校は、3つの教育目標〔①祈る(心を育てる) ②学ぶ(知性を磨く) ③行動する(他者とともに、他者のために生きる)〕に基づいて、教育を行っている。	3.81	…For others, with othersの精神が生徒に浸透しているように思う。(いいことだと感じる) 1、2、6、7、8について …スクールモットーが明確であり、概ねこの精神に基づいて運営なされていると感じる。 3、5について …特にメール、クラッシー、HPを利用した情報共有がスムーズに行われてきたと思う。またこの情報共有は危機管理面だけでなく、保護者への情報提供、連携にも活用されていると思う。	△コロナ禍でのボランティア活動、SDGs活動など形を変えた特性を活かした取り組みの継続に期待している。 △どの分野においても、国際的な視点は大切になると思うので、グローバルな人材育成の成果として様々な分野で活躍される卒業生のことも紹介していただきたい。 ○情報発信、広報活動においては、新しいツールも活用され、しっかり情報発信されていると思う。 △活動内容について、ぜひしっかりと議論し取り組んでいただきたい。 △生徒や保護者との対応が三者面談等以外でできているのか、又、先生方にその時間がとれているのか気になる。 △生徒1人1人に向き合って親身になってくれるところがサビエルの良いところだと思うので、なぜ、保護者アンケートの「生徒や保護者の声を聞く機会を設けている」の評価がさがっているのか見直してもらいたい。 △多くの留学生を受け入れているのに評価が下がっているのはショックである。 △コロナでボランティアの機会が減っているのかもしれないが、対外的なインスタ、HPだけでなく保護者に内部の活動がきちんと見えるのか疑問に思った。	4.00
	3 学校は、生徒の安全確保を最優先し、危機管理を根拠とした運営を行っている。	3.63	4について …新型コロナ感染予防対策として密を避けるため、職員室を二部室に分けたため、全員と顔を合わせる機会が少なくなり、些細な情報共有ができなくなった(少なくなった)ように感じる。 現在もできていると思うが、分掌等の引継ぎの際、毎年同じことをするものについては、共通使用できる計画書のひな型のようなのがあれば、作成に時間をとられなくてすむのではないかと感じる。担当者ごとに新たに作成すると、見やすさや情報量がばらばらになる気がする。 6、7、8について …今年度はコロナでなかなか思うような活動ができなかった1年であった。生徒アンケートの結果についても昨年と比べると、大きく下がっている。特に6の学校行事については、多くの行事が中止、規模縮小、リモートとなり、生徒にとっても充実度は低かったと思われる。そのような中、期間の縮小はあったものの、「アジアの架け橋」プロジェクトによる留学生の受け入れができたことは大きな成果だったと思う。	○特に留学、姉妹校との交流、ボランティア活動、国際交流はサビエル高校の特徴だと思う。オンライン語学留学、リモートによる姉妹校との交流、コロナ禍でのボランティア活動、SDGs活動など形を変えた特性を活かした取り組みの継続に期待している。 △どの分野においても、国際的な視点は大切になると思うので、グローバルな人材育成の成果として様々な分野で活躍される卒業生のことも紹介していただきたい。 ○情報発信、広報活動においては、新しいツールも活用され、しっかり情報発信されていると思う。 △活動内容について、ぜひしっかりと議論し取り組んでいただきたい。 △生徒や保護者との対応が三者面談等以外でできているのか、又、先生方にその時間がとれているのか気になる。 △生徒1人1人に向き合って親身になってくれるところがサビエルの良いところだと思うので、なぜ、保護者アンケートの「生徒や保護者の声を聞く機会を設けている」の評価がさがっているのか見直してもらいたい。 △多くの留学生を受け入れているのに評価が下がっているのはショックである。 △コロナでボランティアの機会が減っているのかもしれないが、対外的なインスタ、HPだけでなく保護者に内部の活動がきちんと見えるのか疑問に思った。	4.00
	4 教職員間(学年間・教科間・その他)の協力体制ができています。	3.15	9について …HPの充実、さらにインスタグラムでの広報活動など外部への露出度を上げることができた。次の課題として、準備したこれらのコンテンツが実際にどの程度、外部の方の目に触れているのか、情報を得る必要がある。	△どの分野においても、国際的な視点は大切になると思うので、グローバルな人材育成の成果として様々な分野で活躍される卒業生のことも紹介していただきたい。 ○情報発信、広報活動においては、新しいツールも活用され、しっかり情報発信されていると思う。 △活動内容について、ぜひしっかりと議論し取り組んでいただきたい。 △生徒や保護者との対応が三者面談等以外でできているのか、又、先生方にその時間がとれているのか気になる。 △生徒1人1人に向き合って親身になってくれるところがサビエルの良いところだと思うので、なぜ、保護者アンケートの「生徒や保護者の声を聞く機会を設けている」の評価がさがっているのか見直してもらいたい。 △多くの留学生を受け入れているのに評価が下がっているのはショックである。 △コロナでボランティアの機会が減っているのかもしれないが、対外的なインスタ、HPだけでなく保護者に内部の活動がきちんと見えるのか疑問に思った。	3.33
	5 学校は保護者への情報提供や保護者への連携を十分に行っている。	3.63	10について …今年度はコロナでなかなか思うような活動ができなかった1年であった。生徒アンケートの結果についても昨年と比べると、大きく下がっている。特に6の学校行事については、多くの行事が中止、規模縮小、リモートとなり、生徒にとっても充実度は低かったと思われる。そのような中、期間の縮小はあったものの、「アジアの架け橋」プロジェクトによる留学生の受け入れができたことは大きな成果だったと思う。	△どの分野においても、国際的な視点は大切になると思うので、グローバルな人材育成の成果として様々な分野で活躍される卒業生のことも紹介していただきたい。 ○情報発信、広報活動においては、新しいツールも活用され、しっかり情報発信されていると思う。 △活動内容について、ぜひしっかりと議論し取り組んでいただきたい。 △生徒や保護者との対応が三者面談等以外でできているのか、又、先生方にその時間がとれているのか気になる。 △生徒1人1人に向き合って親身になってくれるところがサビエルの良いところだと思うので、なぜ、保護者アンケートの「生徒や保護者の声を聞く機会を設けている」の評価がさがっているのか見直してもらいたい。 △多くの留学生を受け入れているのに評価が下がっているのはショックである。 △コロナでボランティアの機会が減っているのかもしれないが、対外的なインスタ、HPだけでなく保護者に内部の活動がきちんと見えるのか疑問に思った。	3.00
	6 各種学校行事について、充実して行われている。	3.31	11について …コロナ禍につき、制限の多い一年だった。授業ではペアワーク・グループワークができず、座学中心にせざるを得なかったため、生徒の理解が浅くなりがちだと感じた。	△どの分野においても、国際的な視点は大切になると思うので、グローバルな人材育成の成果として様々な分野で活躍される卒業生のことも紹介していただきたい。 ○情報発信、広報活動においては、新しいツールも活用され、しっかり情報発信されていると思う。 △活動内容について、ぜひしっかりと議論し取り組んでいただきたい。 △生徒や保護者との対応が三者面談等以外でできているのか、又、先生方にその時間がとれているのか気になる。 △生徒1人1人に向き合って親身になってくれるところがサビエルの良いところだと思うので、なぜ、保護者アンケートの「生徒や保護者の声を聞く機会を設けている」の評価がさがっているのか見直してもらいたい。 △多くの留学生を受け入れているのに評価が下がっているのはショックである。 △コロナでボランティアの機会が減っているのかもしれないが、対外的なインスタ、HPだけでなく保護者に内部の活動がきちんと見えるのか疑問に思った。	3.00
	7 学校は、ボランティア活動を通して他者のために生きる人材となるよう指導している。	3.59	12について …ICT活用は進んでいるように感じているが、ICT機器に頼りすぎの傾向を感じる。ICTのメリットが実際の活動の活性化につながるとういと思う。また、著作権の侵害にならないような配慮が必要だと感じる。	△どの分野においても、国際的な視点は大切になると思うので、グローバルな人材育成の成果として様々な分野で活躍される卒業生のことも紹介していただきたい。 ○情報発信、広報活動においては、新しいツールも活用され、しっかり情報発信されていると思う。 △活動内容について、ぜひしっかりと議論し取り組んでいただきたい。 △生徒や保護者との対応が三者面談等以外でできているのか、又、先生方にその時間がとれているのか気になる。 △生徒1人1人に向き合って親身になってくれるところがサビエルの良いところだと思うので、なぜ、保護者アンケートの「生徒や保護者の声を聞く機会を設けている」の評価がさがっているのか見直してもらいたい。 △多くの留学生を受け入れているのに評価が下がっているのはショックである。 △コロナでボランティアの機会が減っているのかもしれないが、対外的なインスタ、HPだけでなく保護者に内部の活動がきちんと見えるのか疑問に思った。	4.00
	8 学校は、国際交流活動を通して、グローバルな人材となるよう指導している。	3.67	13について …来年度から始まる新教育課程も見据え、今後も評価基準の検証、見直しを進めていく。	△どの分野においても、国際的な視点は大切になると思うので、グローバルな人材育成の成果として様々な分野で活躍される卒業生のことも紹介していただきたい。 ○情報発信、広報活動においては、新しいツールも活用され、しっかり情報発信されていると思う。 △活動内容について、ぜひしっかりと議論し取り組んでいただきたい。 △生徒や保護者との対応が三者面談等以外でできているのか、又、先生方にその時間がとれているのか気になる。 △生徒1人1人に向き合って親身になってくれるところがサビエルの良いところだと思うので、なぜ、保護者アンケートの「生徒や保護者の声を聞く機会を設けている」の評価がさがっているのか見直してもらいたい。 △多くの留学生を受け入れているのに評価が下がっているのはショックである。 △コロナでボランティアの機会が減っているのかもしれないが、対外的なインスタ、HPだけでなく保護者に内部の活動がきちんと見えるのか疑問に思った。	4.00
	9 HPなどにより、広報活動が十分に行われている。	3.73	どの項目についても言えると思うが、活動内容について議論する時間が教員側にも生徒側にもっとあると良いと思う。長期休業時や、午前中授業が多くあれば、そのような機会になり得る。また1月から3月の間に次年度に向けて深く準備ができると私学の良さが出るのではと考える。	△どの分野においても、国際的な視点は大切になると思うので、グローバルな人材育成の成果として様々な分野で活躍される卒業生のことも紹介していただきたい。 ○情報発信、広報活動においては、新しいツールも活用され、しっかり情報発信されていると思う。 △活動内容について、ぜひしっかりと議論し取り組んでいただきたい。 △生徒や保護者との対応が三者面談等以外でできているのか、又、先生方にその時間がとれているのか気になる。 △生徒1人1人に向き合って親身になってくれるところがサビエルの良いところだと思うので、なぜ、保護者アンケートの「生徒や保護者の声を聞く機会を設けている」の評価がさがっているのか見直してもらいたい。 △多くの留学生を受け入れているのに評価が下がっているのはショックである。 △コロナでボランティアの機会が減っているのかもしれないが、対外的なインスタ、HPだけでなく保護者に内部の活動がきちんと見えるのか疑問に思った。	4.00
主に学習指導に関する事柄	10 私は、「分かりやすい・深く考える」授業を目指して、教材研究に取り組んでいる。	3.39	生徒アンケートの「今の授業に満足している、保護者アンケートの「子供から全体的に授業に満足している」と聞いています」の項目について、どちらも他の項目に比べると低い評価となっている。10～13の項目について研修の機会などを増やしたい。また、単元テストについても改善、見直しを行っていききたい。	△レベルごと的小グループ、少人数授業の導入ができないか?(英検対策etc)同じレベルの少人数の環境で、自信を持ち、意欲的な授業参加につながると思う。 △1年次から受験に必要な英単語、古文単語など、ゲーム感覚で家庭学習につなぐアプリの活用など、必須の家庭学習課題が明確にあるとういと思う。 △授業に対する満足度は「どちらかといえばそう思う」が主流を占めている。これは「そう思う」を80%以上にはしないといけない。 △単元テストについては、「なぜ負担なのか?」「何が負担なのか?」「テストがなければよいのか?」を生徒に考えさせる必要もあると思う。 △単元テストの導入ということで中間テストがなく、日々の授業の中でのテストだと思いが、それが家庭学習につながっているのかと思う。生徒から、単元テストに追われ、自分の勉強ができないという声も聞いた。このことがアンケートの数字にも影響しているのではないかと感じる。 △ICTの活用は、校内だけでなく、先進校や専門家のレクチャーも大切だと思う。 △ICTも手段であり、目的にならないようにしなければならない。 △Classiについて、フリーズすることも多く、使いにくかったと聞いている。 Teamsだけでよいのではないか。 △コロナ禍で(家庭においても)Zoomの活用により、顔の見える関係をつくるのが必要だと思う。	4.00
	11 私は、授業の進め方を、ALなどを取り入れながら、常に工夫・改善しながら適切に行っている。	3.27	11について …コロナ禍につき、制限の多い一年だった。授業ではペアワーク・グループワークができず、座学中心にせざるを得なかったため、生徒の理解が浅くなりがちだと感じた。	△レベルごと的小グループ、少人数授業の導入ができないか?(英検対策etc)同じレベルの少人数の環境で、自信を持ち、意欲的な授業参加につながると思う。 △1年次から受験に必要な英単語、古文単語など、ゲーム感覚で家庭学習につなぐアプリの活用など、必須の家庭学習課題が明確にあるとういと思う。 △授業に対する満足度は「どちらかといえばそう思う」が主流を占めている。これは「そう思う」を80%以上にはしないといけない。 △単元テストについては、「なぜ負担なのか?」「何が負担なのか?」「テストがなければよいのか?」を生徒に考えさせる必要もあると思う。 △単元テストの導入ということで中間テストがなく、日々の授業の中でのテストだと思いが、それが家庭学習につながっているのかと思う。生徒から、単元テストに追われ、自分の勉強ができないという声も聞いた。このことがアンケートの数字にも影響しているのではないかと感じる。 △ICTの活用は、校内だけでなく、先進校や専門家のレクチャーも大切だと思う。 △ICTも手段であり、目的にならないようにしなければならない。 △Classiについて、フリーズすることも多く、使いにくかったと聞いている。 Teamsだけでよいのではないか。 △コロナ禍で(家庭においても)Zoomの活用により、顔の見える関係をつくるのが必要だと思う。	3.67
	12 私は、ICT機器の特性を活かした授業を行っている。	3.09	12について …ICT活用は進んでいるように感じているが、ICT機器に頼りすぎの傾向を感じる。ICTのメリットが実際の活動の活性化につながるとういと思う。また、著作権の侵害にならないような配慮が必要だと感じる。	△レベルごと的小グループ、少人数授業の導入ができないか?(英検対策etc)同じレベルの少人数の環境で、自信を持ち、意欲的な授業参加につながると思う。 △1年次から受験に必要な英単語、古文単語など、ゲーム感覚で家庭学習につなぐアプリの活用など、必須の家庭学習課題が明確にあるとういと思う。 △授業に対する満足度は「どちらかといえばそう思う」が主流を占めている。これは「そう思う」を80%以上にはしないといけない。 △単元テストについては、「なぜ負担なのか?」「何が負担なのか?」「テストがなければよいのか?」を生徒に考えさせる必要もあると思う。 △単元テストの導入ということで中間テストがなく、日々の授業の中でのテストだと思いが、それが家庭学習につながっているのかと思う。生徒から、単元テストに追われ、自分の勉強ができないという声も聞いた。このことがアンケートの数字にも影響しているのではないかと感じる。 △ICTの活用は、校内だけでなく、先進校や専門家のレクチャーも大切だと思う。 △ICTも手段であり、目的にならないようにしなければならない。 △Classiについて、フリーズすることも多く、使いにくかったと聞いている。 Teamsだけでよいのではないか。 △コロナ禍で(家庭においても)Zoomの活用により、顔の見える関係をつくるのが必要だと思う。	3.67
	13 私(各教科)は生徒や保護者が納得のいく評価基準を設定している。	3.50	13について …来年度から始まる新教育課程も見据え、今後も評価基準の検証、見直しを進めていく。	△レベルごと的小グループ、少人数授業の導入ができないか?(英検対策etc)同じレベルの少人数の環境で、自信を持ち、意欲的な授業参加につながると思う。 △1年次から受験に必要な英単語、古文単語など、ゲーム感覚で家庭学習につなぐアプリの活用など、必須の家庭学習課題が明確にあるとういと思う。 △授業に対する満足度は「どちらかといえばそう思う」が主流を占めている。これは「そう思う」を80%以上にはしないといけない。 △単元テストについては、「なぜ負担なのか?」「何が負担なのか?」「テストがなければよいのか?」を生徒に考えさせる必要もあると思う。 △単元テストの導入ということで中間テストがなく、日々の授業の中でのテストだと思いが、それが家庭学習につながっているのかと思う。生徒から、単元テストに追われ、自分の勉強ができないという声も聞いた。このことがアンケートの数字にも影響しているのではないかと感じる。 △ICTの活用は、校内だけでなく、先進校や専門家のレクチャーも大切だと思う。 △ICTも手段であり、目的にならないようにしなければならない。 △Classiについて、フリーズすることも多く、使いにくかったと聞いている。 Teamsだけでよいのではないか。 △コロナ禍で(家庭においても)Zoomの活用により、顔の見える関係をつくるのが必要だと思う。	3.67
主に進路指導に関する事柄	14 私は、各学年・教科の目標達成に向けて指導法を改善したり、研究したりしている。	3.32	おおむね良好な結果である。今年度の卒業生の進学実績については、特に国公立大学合格者が17名(特別進学コースから50パーセント強の10名、進学コースからも7名の合格者を出した。	○生徒1人ひとりと真摯に向き合い、適切な指導をしていると思う。 △国公立大学の進学率が高校を選択する際の重点ポイントとなっていると思うが、国公立志望であっても、私立を含めしっかりと学部、学科、カリキュラムの特徴などを、早い段階で絞りすぎず、1、2年生のうちに調べたり、見たり、聞いたりする機会が増えるとういと思う。2年生前半までに、志望大学等で自分がしたい大まかなこと(留学、資格取得、インターンなど)や学生生活を思い描いておくことも大切だと思う。 △卒業生から直接話を聞いたり、Q&A通信のようなつながりを在校生、保護者とも持つことができるとよいと思う。卒業生とのつながりを大切にできるのもサビエルの特徴だと思う。 ○進路指導については、実績が出ていると思う。生徒が希望する進路へ進めるよう、ご指導お願いします。 ○アンケートでも高評価だったが、それが大学合格率アップの実績となって出ていると思う。	4.00
	15 LHR等を利用して計画的な進路指導がなされている。	3.45	16について …昨年来、Classiを利用しているの情報発信も多く行った。	○生徒1人ひとりと真摯に向き合い、適切な指導をしていると思う。 △国公立大学の進学率が高校を選択する際の重点ポイントとなっていると思うが、国公立志望であっても、私立を含めしっかりと学部、学科、カリキュラムの特徴などを、早い段階で絞りすぎず、1、2年生のうちに調べたり、見たり、聞いたりする機会が増えるとういと思う。2年生前半までに、志望大学等で自分がしたい大まかなこと(留学、資格取得、インターンなど)や学生生活を思い描いておくことも大切だと思う。 △卒業生から直接話を聞いたり、Q&A通信のようなつながりを在校生、保護者とも持つことができるとよいと思う。卒業生とのつながりを大切にできるのもサビエルの特徴だと思う。 ○進路指導については、実績が出ていると思う。生徒が希望する進路へ進めるよう、ご指導お願いします。 ○アンケートでも高評価だったが、それが大学合格率アップの実績となって出ていると思う。	4.00
	16 進路指導部からの情報の提供が適切になされている。	3.74	17について …個人指導についても担任・副担任、教科担当が、面談などを行うことで良好な結果となっている。	○生徒1人ひとりと真摯に向き合い、適切な指導をしていると思う。 △国公立大学の進学率が高校を選択する際の重点ポイントとなっていると思うが、国公立志望であっても、私立を含めしっかりと学部、学科、カリキュラムの特徴などを、早い段階で絞りすぎず、1、2年生のうちに調べたり、見たり、聞いたりする機会が増えるとういと思う。2年生前半までに、志望大学等で自分がしたい大まかなこと(留学、資格取得、インターンなど)や学生生活を思い描いておくことも大切だと思う。 △卒業生から直接話を聞いたり、Q&A通信のようなつながりを在校生、保護者とも持つことができるとよいと思う。卒業生とのつながりを大切にできるのもサビエルの特徴だと思う。 ○進路指導については、実績が出ていると思う。生徒が希望する進路へ進めるよう、ご指導お願いします。 ○アンケートでも高評価だったが、それが大学合格率アップの実績となって出ていると思う。	4.00
	17 進路に関する相談や個人指導が適切になされている。	3.64	17について …個人指導についても担任・副担任、教科担当が、面談などを行うことで良好な結果となっている。	○生徒1人ひとりと真摯に向き合い、適切な指導をしていると思う。 △国公立大学の進学率が高校を選択する際の重点ポイントとなっていると思うが、国公立志望であっても、私立を含めしっかりと学部、学科、カリキュラムの特徴などを、早い段階で絞りすぎず、1、2年生のうちに調べたり、見たり、聞いたりする機会が増えるとういと思う。2年生前半までに、志望大学等で自分がしたい大まかなこと(留学、資格取得、インターンなど)や学生生活を思い描いておくことも大切だと思う。 △卒業生から直接話を聞いたり、Q&A通信のようなつながりを在校生、保護者とも持つことができるとよいと思う。卒業生とのつながりを大切にできるのもサビエルの特徴だと思う。 ○進路指導については、実績が出ていると思う。生徒が希望する進路へ進めるよう、ご指導お願いします。 ○アンケートでも高評価だったが、それが大学合格率アップの実績となって出ていると思う。	4.00
主に生徒指導に関する事柄	18 全教職員が同じ方針で適切な生徒指導を行っている。	3.41	学校全体としては生徒指導部の嫌がらせ行為についてのアンケート等で早期発見、防止に努めているが、対処の仕方について学年間の共通理解がもっと必要だと感じる。	△生徒、保護者アンケートの23について、生徒の「そう思う」が減少し、「どちらかといえばそう思わない」が増えているのが気になる。何が原因なのか。 △自ら発信できない生徒に対して、自分の気持ちを話すことができる学校での存在は、必ずしも担任や学年の先生である必要はないと思うので、クラスや学年などの立場を越えて、生徒が心を開ける環境となるようアットホームなサビエルらしさが活かせたらよいと思う。 △外部の方から見た「サビエル生」のイメージ向上はとてとても大切だと思う。 △転学者の理由は何でしょうか?できることは何かを考えて実行してもらいたい。できることは何か?を考えて実行してほしい。 △公立高校と違って、部活動より勉学を優先してサビエルを選択された方も多いのではないかと感じる。 △外部講師を活用すること(一部でも)、短時間で効率よく活動すること、部活動の成績だけでなく、活動の成果を可視化する指導も、生徒の満足度につながると思う。(強いチームでなくても、中学校の部員が多い部活や、高校からでもチャレンジできそうな部が存在することが、中学生が高校を選択するときに大切な視点となるのではないかと感じる。 △これらの項目について、「そう思う」の回答が下がっており、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の評価が上がっている。保護者アンケートの「学校は、生徒の話や声を聞く機会を設けている。」の評価と通じるものがあるのではないかと。 △生徒のための学校運営をされていると思うが、先生方がその時間をきちんと取れているのか疑問に思う。	3.33
	19 私は、校則を熟知しており、問題行動が発生した場合などの対処についても理解している。	3.09	21について …今年度は転学者が、多かった。もう少し何かできたのかもしれない。 …スクールカウンセラーの存在は大きい。担任とも密な連携がとれている。	△生徒、保護者アンケートの23について、生徒の「そう思う」が減少し、「どちらかといえばそう思わない」が増えているのが気になる。何が原因なのか。 △自ら発信できない生徒に対して、自分の気持ちを話すことができる学校での存在は、必ずしも担任や学年の先生である必要はないと思うので、クラスや学年などの立場を越えて、生徒が心を開ける環境となるようアットホームなサビエルらしさが活かせたらよいと思う。 △外部の方から見た「サビエル生」のイメージ向上はとてとても大切だと思う。 △転学者の理由は何でしょうか?できることは何かを考えて実行してもらいたい。できることは何か?を考えて実行してほしい。 △公立高校と違って、部活動より勉学を優先してサビエルを選択された方も多いのではないかと感じる。 △外部講師を活用すること(一部でも)、短時間で効率よく活動すること、部活動の成績だけでなく、活動の成果を可視化する指導も、生徒の満足度につながると思う。(強いチームでなくても、中学校の部員が多い部活や、高校からでもチャレンジできそうな部が存在することが、中学生が高校を選択するときに大切な視点となるのではないかと感じる。 △これらの項目について、「そう思う」の回答が下がっており、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の評価が上がっている。保護者アンケートの「学校は、生徒の話や声を聞く機会を設けている。」の評価と通じるものがあるのではないかと。 △生徒のための学校運営をされていると思うが、先生方がその時間をきちんと取れているのか疑問に思う。	3.67
	20 私は、授業中のみならず、学校生活においても生徒には適切な声かけを行っている。	3.22	23について …しっかりと活動できている部活とそうでない部活の差が大きいように感じる。今回のアンケート結果からも生徒、保護者の評価は低めとなった。部活動時間の確保、指導方法の改善など、今後も学校全体で取り組んでいかなければならない。	△生徒、保護者アンケートの23について、生徒の「そう思う」が減少し、「どちらかといえばそう思わない」が増えているのが気になる。何が原因なのか。 △自ら発信できない生徒に対して、自分の気持ちを話すことができる学校での存在は、必ずしも担任や学年の先生である必要はないと思うので、クラスや学年などの立場を越えて、生徒が心を開ける環境となるようアットホームなサビエルらしさが活かせたらよいと思う。 △外部の方から見た「サビエル生」のイメージ向上はとてとても大切だと思う。 △転学者の理由は何でしょうか?できることは何かを考えて実行してもらいたい。できることは何か?を考えて実行してほしい。 △公立高校と違って、部活動より勉学を優先してサビエルを選択された方も多いのではないかと感じる。 △外部講師を活用すること(一部でも)、短時間で効率よく活動すること、部活動の成績だけでなく、活動の成果を可視化する指導も、生徒の満足度につながると思う。(強いチームでなくても、中学校の部員が多い部活や、高校からでもチャレンジできそうな部が存在することが、中学生が高校を選択するときに大切な視点となるのではないかと感じる。 △これらの項目について、「そう思う」の回答が下がっており、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の評価が上がっている。保護者アンケートの「学校は、生徒の話や声を聞く機会を設けている。」の評価と通じるものがあるのではないかと。 △生徒のための学校運営をされていると思うが、先生方がその時間をきちんと取れているのか疑問に思う。	3.67
	21 学校は生徒の心身の悩みに応える体制や指導ができています。	3.52	23について …しっかりと活動できている部活とそうでない部活の差が大きいように感じる。今回のアンケート結果からも生徒、保護者の評価は低めとなった。部活動時間の確保、指導方法の改善など、今後も学校全体で取り組んでいかなければならない。	△生徒、保護者アンケートの23について、生徒の「そう思う」が減少し、「どちらかといえばそう思わない」が増えているのが気になる。何が原因なのか。 △自ら発信できない生徒に対して、自分の気持ちを話すことができる学校での存在は、必ずしも担任や学年の先生である必要はないと思うので、クラスや学年などの立場を越えて、生徒が心を開ける環境となるようアットホームなサビエルらしさが活かせたらよいと思う。 △外部の方から見た「サビエル生」のイメージ向上はとてとても大切だと思う。 △転学者の理由は何でしょうか?できることは何かを考えて実行してもらいたい。できることは何か?を考えて実行してほしい。 △公立高校と違って、部活動より勉学を優先してサビエルを選択された方も多いのではないかと感じる。 △外部講師を活用すること(一部でも)、短時間で効率よく活動すること、部活動の成績だけでなく、活動の成果を可視化する指導も、生徒の満足度につながると思う。(強いチームでなくても、中学校の部員が多い部活や、高校からでもチャレンジできそうな部が存在することが、中学生が高校を選択するときに大切な視点となるのではないかと感じる。 △これらの項目について、「そう思う」の回答が下がっており、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の評価が上がっている。保護者アンケートの「学校は、生徒の話や声を聞く機会を設けている。」の評価と通じるものがあるのではないかと。 △生徒のための学校運営をされていると思うが、先生方がその時間をきちんと取れているのか疑問に思う。	4.00
	22 学校は、いじめの早期発見、防止など、いじめに対する対応を十分に行っている。	3.52	23について …しっかりと活動できている部活とそうでない部活の差が大きいように感じる。今回のアンケート結果からも生徒、保護者の評価は低めとなった。部活動時間の確保、指導方法の改善など、今後も学校全体で取り組んでいかなければならない。	△生徒、保護者アンケートの23について、生徒の「そう思う」が減少し、「どちらかといえばそう思わない」が増えているのが気になる。何が原因なのか。 △自ら発信できない生徒に対して、自分の気持ちを話すことができる学校での存在は、必ずしも担任や学年の先生である必要はないと思うので、クラスや学年などの立場を越えて、生徒が心を開ける環境となるようアットホームなサビエルらしさが活かせたらよいと思う。 △外部の方から見た「サビエル生」のイメージ向上はとてとても大切だと思う。 △転学者の理由は何でしょうか?できることは何かを考えて実行してもらいたい。できることは何か?を考えて実行してほしい。 △公立高校と違って、部活動より勉学を優先してサビエルを選択された方も多いのではないかと感じる。 △外部講師を活用すること(一部でも)、短時間で効率よく活動すること、部活動の成績だけでなく、活動の成果を可視化する指導も、生徒の満足度につながると思う。(強いチームでなくても、中学校の部員が多い部活や、高校からでもチャレンジできそうな部が存在することが、中学生が高校を選択するときに大切な視点となるのではないかと感じる。 △これらの項目について、「そう思う」の回答が下がっており、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の評価が上がっている。保護者アンケートの「学校は、生徒の話や声を聞く機会を設けている。」の評価と通じるものがあるのではないかと。 △生徒のための学校運営をされていると思うが、先生方がその時間をきちんと取れているのか疑問に思う。	4.00
	23 私は部活動の指導を十分にしている。	2.90	23について …しっかりと活動できている部活とそうでない部活の差が大きいように感じる。今回のアンケート結果からも生徒、保護者の評価は低めとなった。部活動時間の確保、指導方法の改善など、今後も学校全体で取り組んでいかなければならない。	△生徒、保護者アンケートの23について、生徒の「そう思う」が減少し、「どちらかといえばそう思わない」が増えているのが気になる。何が原因なのか。 △自ら発信できない生徒に対して、自分の気持ちを話すことができる学校での存在は、必ずしも担任や学年の先生である必要はないと思うので、クラスや学年などの立場を越えて、生徒が心を開ける環境となるようアットホームなサビエルらしさが活かせたらよいと思う。 △外部の方から見た「サビエル生」のイメージ向上はとてとても大切だと思う。 △転学者の理由は何でしょうか?できることは何かを考えて実行してもらいたい。できることは何か?を考えて実行してほしい。 △公立高校と違って、部活動より勉学を優先してサビエルを選択された方も多いのではないかと感じる。 △外部講師を活用すること(一部でも)、短時間で効率よく活動すること、部活動の成績だけでなく、活動の成果を可視化する指導も、生徒の満足度につながると思う。(強いチームでなくても、中学校の部員が多い部活や、高校からでもチャレンジできそうな部が存在することが、中学生が高校を選択するときに大切な視点となるのではないかと感じる。 △これらの項目について、「そう思う」の回答が下がっており、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の評価が上がっている。保護者アンケートの「学校は、生徒の話や声を聞く機会を設けている。」の評価と通じるものがあるのではないかと。 △生徒のための学校運営をされていると思うが、先生方がその時間をきちんと取れているのか疑問に思う。	4.00

学校評価総括

●それぞれの担当部署において、目標達成のため様々な方策に取り組んだ。学校関係者による評価の中で、建学の理念や目標は浸透しており、十分に取り組んでいるのご意見をいただいた。同時に、それらをより明確にして運営に臨んでほしいというご意見もあった。また生徒・保護者アンケートの「知人や友人に、サビエル高校への入学を勧めたいと思う。」という質問について、昨年に比べて、ポイントが減っていることについてご指摘を受けた。教科、学年、分掌等の2020年度を振り返り、以下の反省点、気づきなどを基に、改善を図っていききたい。

○サビエル高校の存在意義を見つめ直し、それらを踏まえ、生徒への指導を今後も継続していく。ルーブリックアンケートについて、今年度も各教科等、関連する項目のアンケートを実施した。ほとんどの教科では年度始めに比べると評価が上がっている。この評価を取り入れたことで、建学の理念をもとにした教育がどの程度達成できているかを検証する一助となっている。

○学校の危機管理運営についてはこれまで通り継続して運営していく。学校関係者からも出ていたが、今後は「新しい生活様式」の中で、学校として新型コロナウイルス感染症と係わっていかねばならないだろう。

○教職員間での効果的な協力体制が引き続き課題である。今年度は、密を避けるため、職員室を二分した。このことで、以前よりも全体としてのコミュニケーションが減ったように感じる教職員もいる。雰囲気作り、コミュニケーションの一助として、教職員の誕生日の日に、職員朝礼にて「ほめほめタイム」(その日が誕生日の教職員の良いところを皆で褒めるという企画)を実施することとした。

○学校から保護者への連絡・情報提供についてはメール配信、Classiなどの利用により、大変効果があったと感じる。緊急の連絡の場合など、もう少し早く連絡してほしいのご意見もあった。可能な限り、早めの連絡を行いたい。

○学校行事については、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、中止、規模を縮小して実施などとなった。特に修学旅行については、ぎりぎりまで検討し、なんとか県内修学旅行を実施することができた。2021年度もこの状況は続くと考えられる。行事についても「新しい生活様式」を踏まえながら、可能な限り、実施する方向で進めていきたい。

○毎年実施してきた、韓国聖母女子高校との交流(6月受入、12月訪韓)や、本校企画の海外研修(2週間のアメリカ・サンディエゴ)については、中止となったが、留学生受入については、AFS担当者の協力のもと、受け入れ期間の縮小はあったものの、アジアからの留学生6名を迎え入れることができた。学校関係者評価にもあるが、これらの事業はサビエル高校ならではのものである。国際交流活動についても、可能な限り実施したい。受け入れた留学生が地域の小中学校に出向き異文化交流を行う機会も得られた。

○広報活動については、広報部を中心に中学校、塾への訪問、オープンスクール、学校説明会などの企画運営、学校案内、ポスター制作、さらにインスタグラムを開始した。インターネットを利用した広報活動については、今後より一層力を入れていきたい。また、こういった学校からの情報については、本校生徒、保護者にもアピールしていきたい。

●学習指導に関する部分については学校の核となる部分である。授業形態については、コロナの影響により協働的な学習に制約があったものの、ICT機器の活用という点では教職員のスキルアップにつながった年であった。1学期の休校期間に、iPad等を利用して授業を実施できたことにより、授業進度が遅れることもなかった。この経験を活かし、次年度以降も対応していきたい。学校関係者からの意見で習熟度授業に関するものがあった。教科の指導方針等により、習熟度別授業を取り入れている教科とそうでない教科がある。このことについても今後、議論していきたい。

○授業に関する満足度アンケートについて「そう思う」の低さについての指摘があった。原因を見つけ改善していかなければならない。その中のひとつとして単元テストについての見直しを検討中である。より実態に即した内容となるよう改善していく。

○ICT機器を活用する授業については、前述のとおり、かなり慣れてきている。学校関係者評価でも出ていたが、今後は手段として、より有効に活用していきたい。

○今年度も、生徒の家庭学習の習慣化について、生徒満足度アンケート・保護者満足度アンケートの結果は他の項目に比べて満足度が低い。クラッシーを利用した学習時間調査などを行い、生徒の実態を把握、意識向上に努めているが、このことについては今後も地道に続けていきたい。

●進路指導に関する部分について、保護者、生徒アンケートともにおおむね良好な評価となっている。これらの結果が、卒業後の進路実績にも活かせるよう努力していきたい。今年度の進路実績について、特に国公立大学合格者については17名となった。特別進学コースからの国公立大学合格率は50パーセントを超えている。また進学コースからも7名の生徒が合格した。国公立大学について言えば、13.8%の合格率である。

○進路指導部では、各学年段階で達成すべき進路目標を掲げ、実行した。特に3学年では、様々な観点から進路に対するモチベーションを維持させる働きかけをおこなった。こうしたことで、7割弱の生徒が受験段階での第一志望校に合格した。

○学校関係者からの意見でも出ていたが、早期からの体系的な進路指導はとても大事なことである。今後より深めた進路指導ができるよう工夫していきたい。

○ICT機器を活用した進路学習もしっかりと行えた。

●生徒指導に関する部分について、教員の生徒への関わり方については小規模校ならではの近い距離感があり、それがサビエル高校の良さの一つであると感じる。評価についてもおおむね良好な結果となっている。一方で、転学した生徒への対応など、生徒・保護者への関わり方において、振り返らなければならない部分もある。部活動について、特に今年度はコロナの影響もあり、制約が多い年であった。いろいろな大会などが中止される中、美術部の生徒作品が来年度の全国高等学校総合文化祭に参加(作品出品)されることとなった。

その他、改善点すべき項等は以下の通りである。

○生徒アンケートの結果から見ると、生徒指導面での教員間の指導の差を多少なりとも感じているようである。機会あるごとに教職員間の共通理解の徹底に努めていかなければならない。

○教員と生徒への関わりについてはおおむね良好と言えるが、特に担任はその関わりが大きく、一人では対処が難しい場面も出てくる。その時の協力体制であったり、生徒への対応方法であったりといったことを学年、生徒支援担当が協力し対応していかなければならない。特に最近は、様々な事情を抱えた生徒も多く、その関わりには特に気を配らなくてはならない。今後もこれまで以上に情報共有と対応についての議論を徹底をしていく。

○部活動に充てる時間、指導者の確保などやはり難しい面が多い。来年度については部活動の統廃合を行う。美術部と写真部を合併。華道部を廃部。

○部活動については、学校関係者から、活動成果の可視化について助言をいただいた。このことはどの部でも実施可能だと考えるので、ぜひ推奨していきたい。

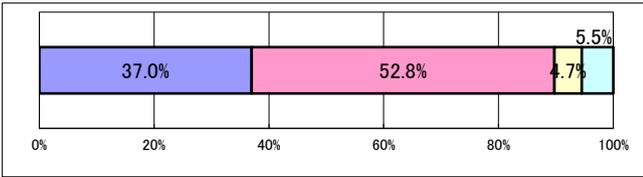
2020年度 生徒満足度アンケート(第2回) 集計結果 その1

実施日:2021年3月8日

対象:生徒(1, 2年)

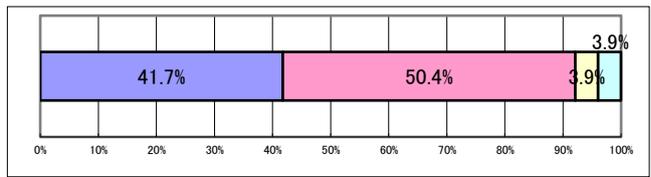
評価基準[A:そう思う B:どちらかといえばそう思う C:どちらかといえばそうは思わない D:そう思わない]

1 私は、建学の理念「愛と奉仕に生きる」を常に念頭に置いて、学校生活を送っている。



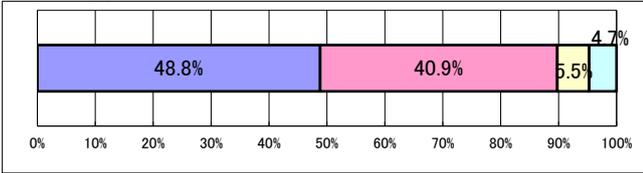
A 47 B 67 C 6 D 7 (人)

2 私は3つの教育目標[①祈る(心を育てる) ②学ぶ(知性を磨く) ③行動する(他者とともに、他者のために生きる)]を常に念頭に置いて、学校生活を送っている。



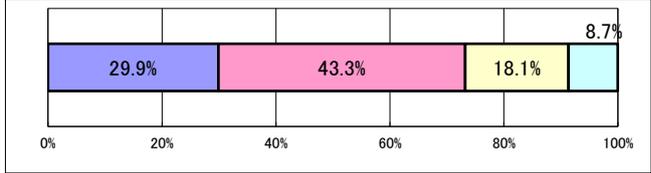
A 53 B 64 C 5 D 5 (人)

3 学校は、生徒の安全確保を最優先し、危機管理を根拠とした運営を行っている。



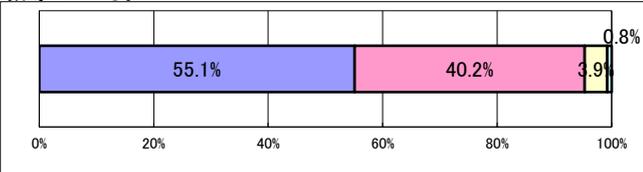
A 62 B 52 C 7 D 6 (人)

4 学校行事に満足している。



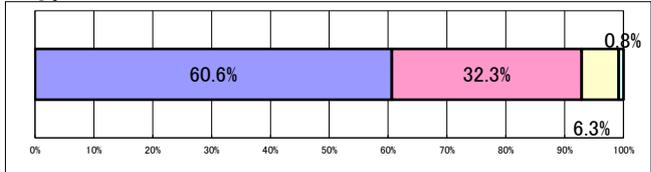
A 38 B 55 C 23 D 11 (人)

5 学校は、ボランティア活動を通して、他者のために生きる人材となるよう指導している。



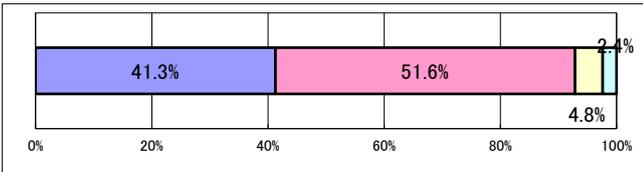
A 70 B 51 C 5 D 1 (人)

6 学校は、国際交流活動を通して、グローバルな人材となるよう指導している。



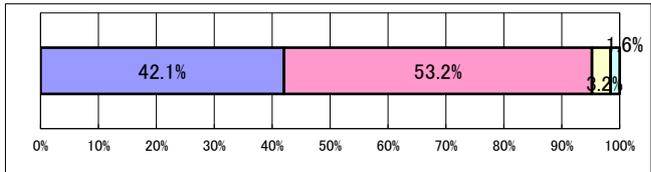
A 77 B 41 C 8 D 1 (人)

7 先生方は興味・関心が持てる授業を行っている。



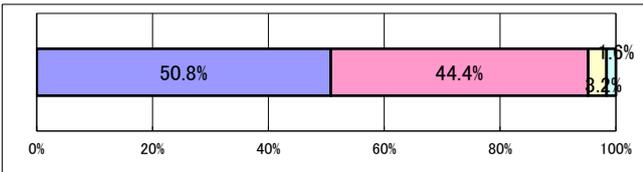
A 52 B 65 C 6 D 3 (人)

8 先生方は熱心に解りやすい、深く考える授業を行っている。



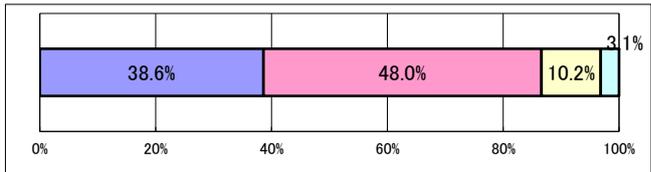
A 53 B 67 C 4 D 2 (人)

9 私は意欲的に授業を受けている。



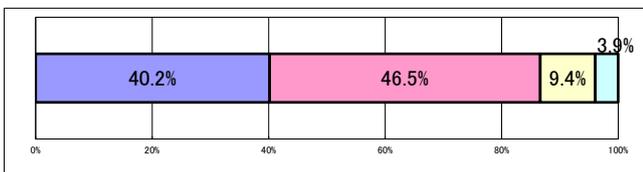
A 64 B 56 C 4 D 2 (人)

10 私は、今の授業に満足している。



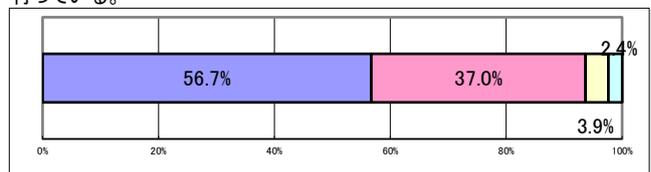
A 49 B 61 C 13 D 4 (人)

11 私は、家庭学習の習慣が身についてきた。



A 51 B 59 C 12 D 5 (人)

12 学校は、個別懇談等、生徒の適性や希望等を活かした進路指導を行っている。



A 72 B 47 C 5 D 3 (人)

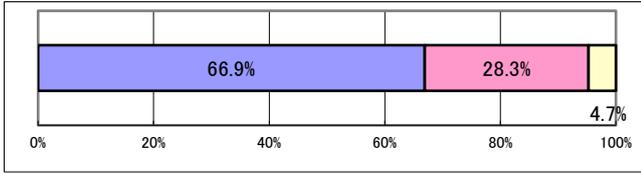
2020年度 生徒満足度アンケート(第2回) 集計結果 その2

実施日:2021年3月8日

対象:生徒(1, 2年)

評価基準[A:そう思う B:どちらかといえばそう思う C:どちらかといえばそうは思わない D:そう思わない]

13 学校は、早期から進路に対する目標の意識づけを行っている。



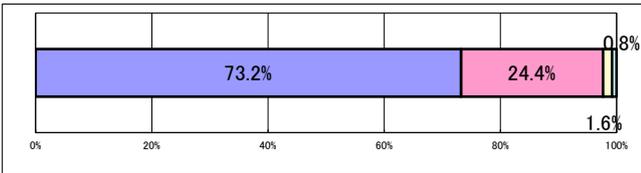
A 85 B 36 C 6 D 0 (人)

14 進路について考える際、学校内で必要な資料の閲覧、情報検索などが十分にできる。



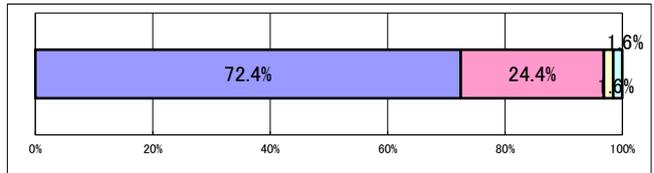
A 77 B 46 C 3 D 1 (人)

15 私は、基本的な生活マナー・交通ルールが身につけてきている。



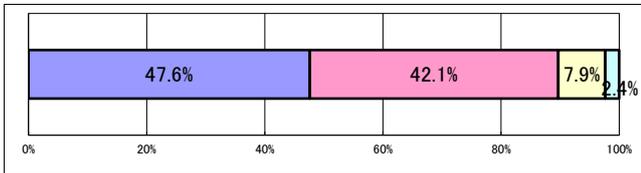
A 93 B 31 C 2 D 1 (人)

16 私は、髪型、服装などサビエル生らしい身なりをしている。



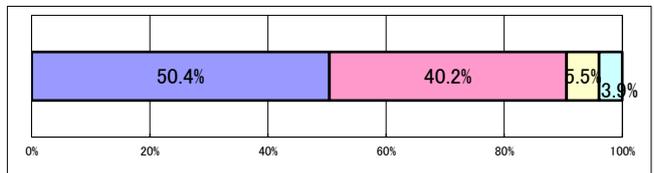
A 92 B 31 C 2 D 2 (人)

17 どの先生も同じ方針で生徒指導を行っている。



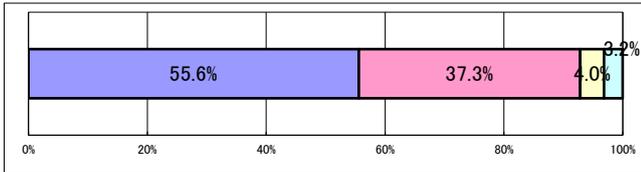
A 60 B 53 C 10 D 3 (人)

18 先生方は生徒の間違った行動に対して適切に指導している。



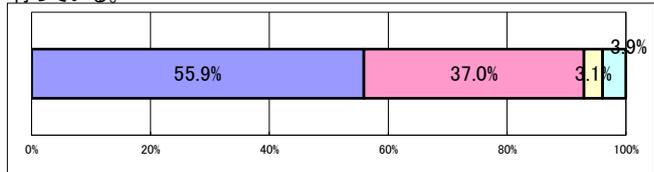
A 64 B 51 C 7 D 5 (人)

19 先生方は生徒からの相談に積極的・親身に応じている。



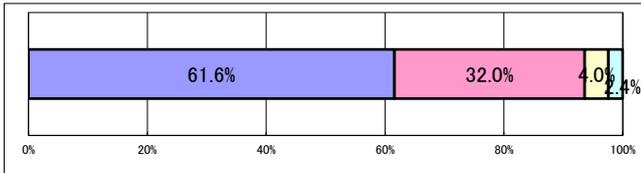
A 70 B 47 C 5 D 4 (人)

20 学校は、いじめの早期発見、防止など、いじめに対する対応を十分にしている。



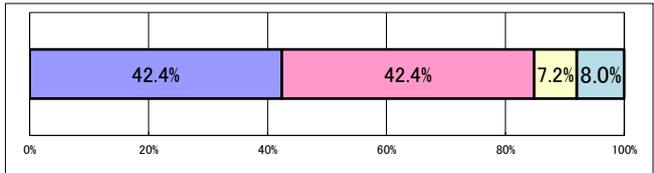
A 71 B 47 C 4 D 5 (人)

21 私が所属している部活動は、指導が十分に行われている。



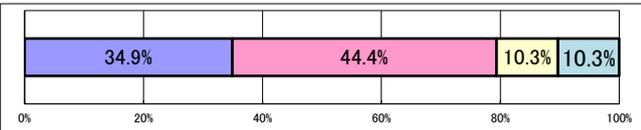
A 77 B 40 C 5 D 3 (人)

22 この学校に入学して良かったと思う。



A 53 B 53 C 9 D 10 (人)

23 知人や友人に、サビエル高校への入学を勧める。



A 44 B 56 C 13 D 13 (人)

2020年度 保護者満足度アンケート(第2回) 集計結:その1

実施日:2021年3月5日~26日

対象:1, 2年保護者

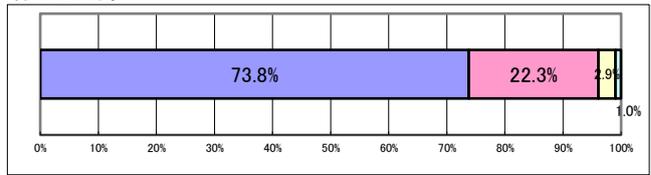
評価基準[A:そう思う B:どちらかといえばそう思う C:どちらかといえばそうは思わない D:そう思わない]

1 全校集会やホームページ等を通して建学の理念や教育方針等が生徒や保護者に伝わるようにしている。



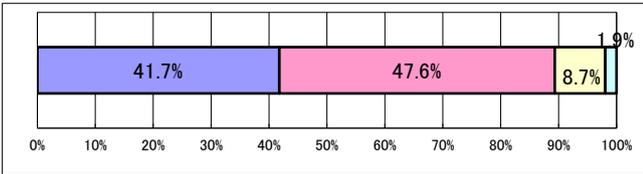
A 58 B 39 C 5 D 1 (人)

2 学校は、生徒の安全確保を最優先し、危機管理を根拠とした運営を行っている。



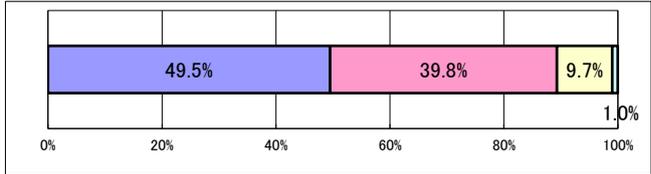
A 76 B 23 C 3 D 1 (人)

3 学校は、保護者の話や声を聞く機会を設けている。



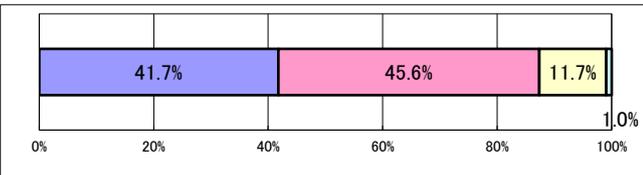
A 43 B 49 C 9 D 2 (人)

4 学校は、生徒の話や声を聞く機会を設けている。



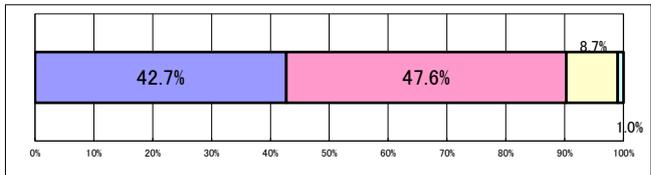
A 51 B 41 C 10 D 1 (人)

5 学校は、保護者の要望を把握し、協力して活動している。



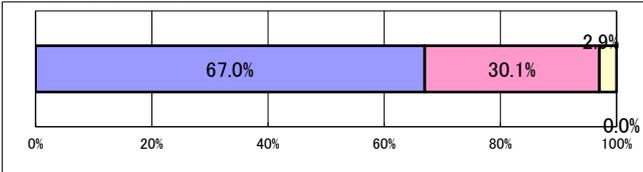
A 43 B 47 C 12 D 1 (人)

6 学校と保護者との連携がうまく取れている。



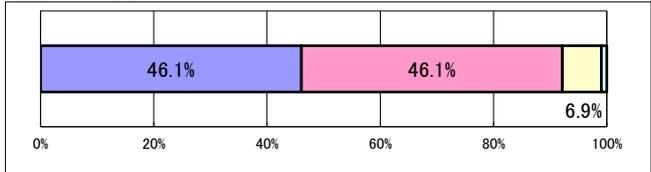
A 44 B 49 C 9 D 1 (人)

7 学校は、ボランティア活動や国際交流活動を通して、他者のために生きる人材となるよう指導している。



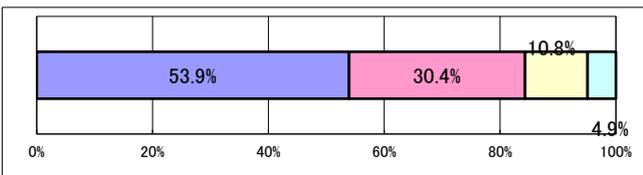
A 69 B 31 C 3 D 0 (人)

8 学校は総合的な学習の時間や学校行事等で、様々な体験ができる指導をしている。



A 47 B 47 C 7 D 1 (人)

9 学校の雰囲気がよく、子どもはいきいきと楽しく学校生活を送っている。



A 55 B 31 C 11 D 5 (人)

10 学校は、生徒の興味・関心を高める授業を展開している。



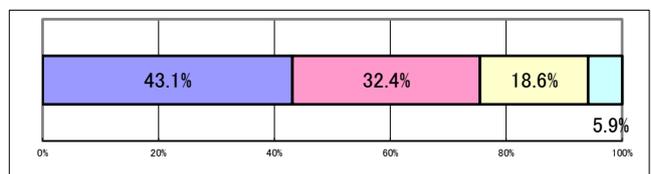
A 39 B 50 C 11 D 2 (人)

11 子どもから「全体的に授業に満足している」と聞いている。



A 31 B 48 C 18 D 4 (人)

12 子どもは、家庭学習の習慣が身についている。



A 44 B 33 C 19 D 6 (人)

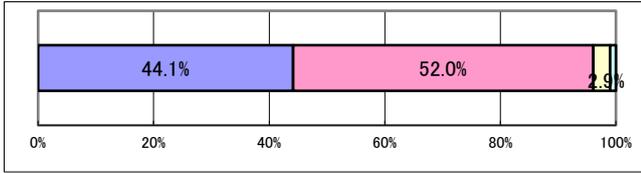
2020年度 保護者満足度アンケート(第2回) 集計結:その2

実施日:2021年3月5日~26日

対象:1,2年保護者

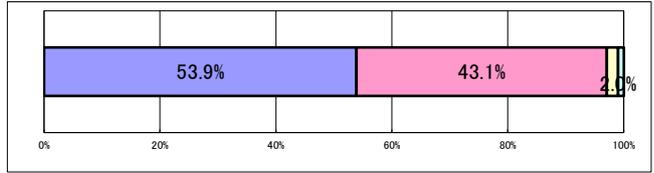
評価基準[A:そう思う B:どちらかといえばそう思う C:どちらかといえばそうは思わない D:そう思わない]

13 学校は、生徒の適性や希望等を生かした進路指導を行っている。



A 45 B 53 C 3 D 1 (人)

14 学校は、個別懇談等、生徒一人ひとりを大切にされた進路指導を行っている。



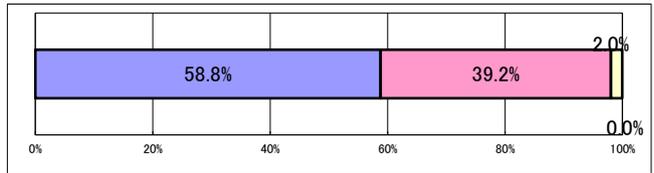
A 55 B 44 C 2 D 1 (人)

15 学校は、保護者との連携を密にした進路指導を行っている。



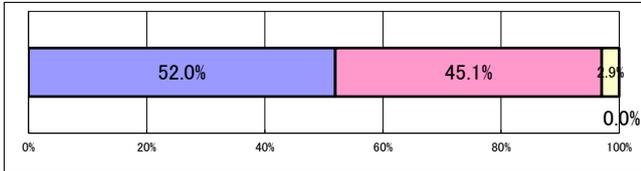
A 38 B 55 C 8 D 1 (人)

16 学校は、早期から進路に対する目標の意識づけを行っている。



A 60 B 40 C 2 D 0 (人)

17 学校は、生徒に基本的な生活マナー・交通ルールが身につくように指導している。



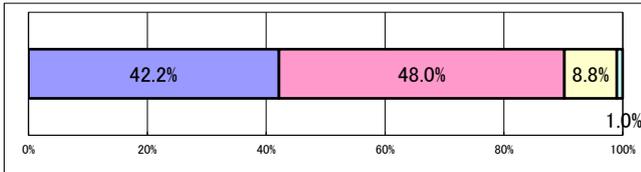
A 53 B 46 C 3 D 0 (人)

18 子どもは、髪型、服装などサビエル生らしい身なりをしている。



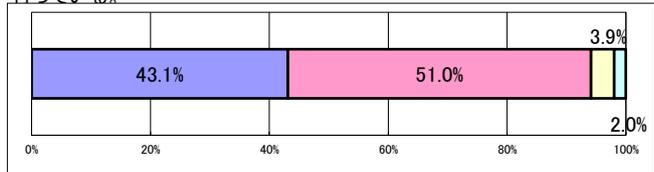
A 87 B 13 C 2 D 0 (人)

19 学校は、心身の悩みに応える指導を行っている。



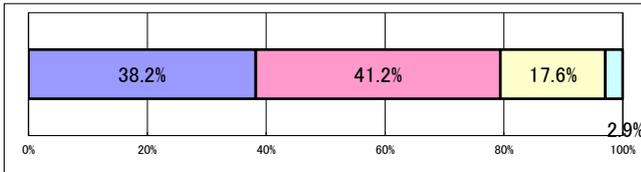
A 43 B 49 C 9 D 1 (人)

20 学校は、いじめの早期発見、防止など、いじめに対する対応を十分にしている。



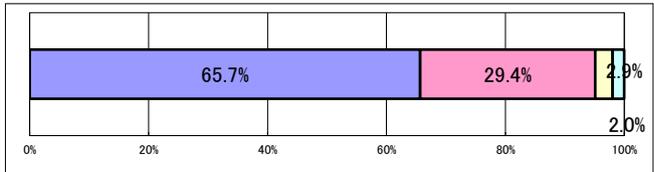
A 44 B 52 C 4 D 2 (人)

21 部活動の指導は十分に行われている。



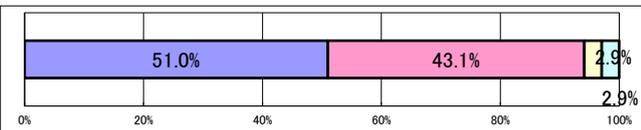
A 39 B 42 C 18 D 3 (人)

22 サビエル高校に入学させてよかったと思う。



A 67 B 30 C 3 D 2 (人)

23 知人や友人に、サビエル高校への入学を勧めたいと思う。



A 52 B 44 C 3 D 3 (人)